



平成 29 年 4 月 26 日

各 位

会 社 名 ダイワボウホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 野上 義博
 (コード番号 3107 東証 第 1 部)
問合せ先 財務 I R 室長 堀川 泰伸
 (TEL 06-6281-2404)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 4 月 26 日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、平成 28 年 5 月 12 日に公表した業績予想および配当予想について、下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 590,000	百万円 10,000	百万円 9,300	百万円 5,400	円 銭 28.32
今回修正予想 (B)	617,000	12,700	12,600	7,500	39.31
増 減 額 (B - A)	27,000	2,700	3,300	2,100	—
増 減 率 (%)	4.6	27.0	35.5	38.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	578,506	9,912	9,679	5,266	27.77

(2) 修正の理由

通期の業績予想につきましては、ITインフラ流通事業において、国内企業の業績回復を背景にIT投資が底堅く推移するなか、主力商材であるパソコンについて、モニタなどの周辺機器やソフトウェアを含めた複合提案の推進により販売台数が大きく伸長し、加えて官公庁向けの情報セキュリティ強化に関する商材や個人向け市場でのSIMロックフリースマートフォンの販売が好調に推移し、売上高・営業利益が計画を上回り、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を上回る見込みです。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なることがあります。

2. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年 間 配 当 金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (平成 28 年 5 月 12 日発表)	—	7 円 00 銭	7 円 00 銭
今 回 修 正 予 想	—	10 円 00 銭 (普通配当 9 円 00 銭) (記念配当 1 円 00 銭)	10 円 00 銭 (普通配当 9 円 00 銭) (記念配当 1 円 00 銭)
当 期 実 績	0 円 00 銭	—	—
前 期 実 績 (平成 28 年 3 月 期)	0 円 00 銭	7 円 00 銭	7 円 00 銭

(2) 修正の理由

当社は従来から利益配当を経営の重要課題として位置付けており、業績に応じて内部留保資金の確保を図りながら、継続的かつ安定的な利益還元を行うことを基本方針としております。この基本方針のもと、持株会社を中心としたグループ経営を推進し事業競争力の強化に努めた結果、通期の業績見通しは当初の予想を上回る見込みとなりましたので、1株当たり期末配当金（普通配当）をこれまで予想していた7円から2円増配し、1株当たり9円に修正いたします。

また、当社は当期に創立75周年を迎えました。これもひとえに株主の皆様をはじめ関係各位の長年にわたる温かいご支援の賜物と心より御礼申しあげます。

つきましては、株主の皆様へ感謝の意を表するため、1株当たり1円の記念配当を実施することといたしました。

これにより期末配当金は、1株当たり10円（普通配当9円、記念配当1円）とさせていただきます。

なお、本件は平成29年6月開催予定の第107回定時株主総会に付議する予定であります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の配当金額は、今後様々な要因により予想数値と異なることがあります。

以 上